

# アジサシ

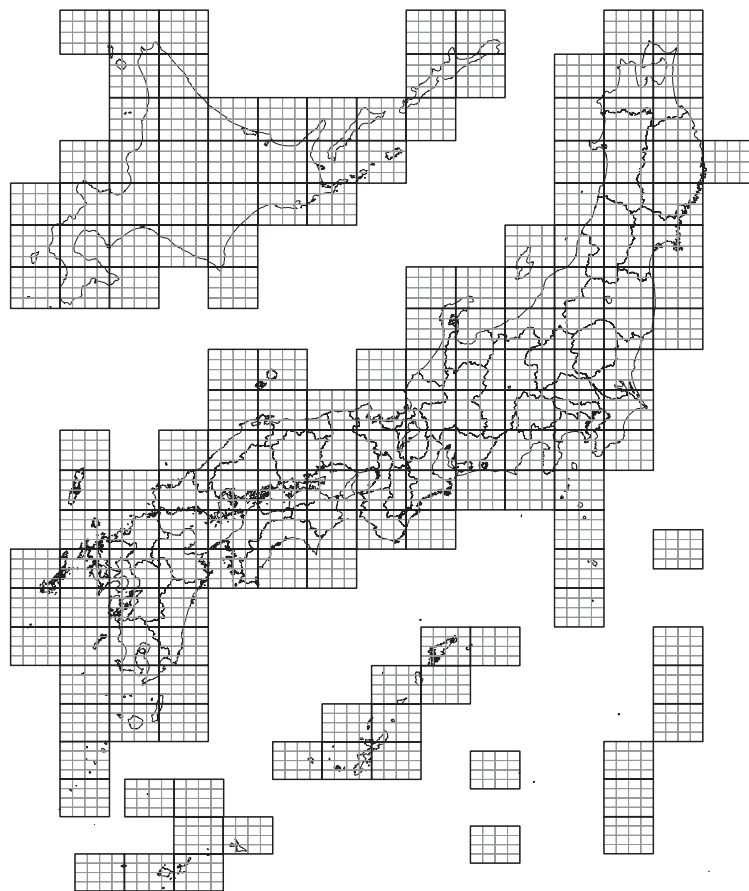
(分類) チドリ目カモメ科 *Sterna hirundo*

(環境省 RDB 種) -

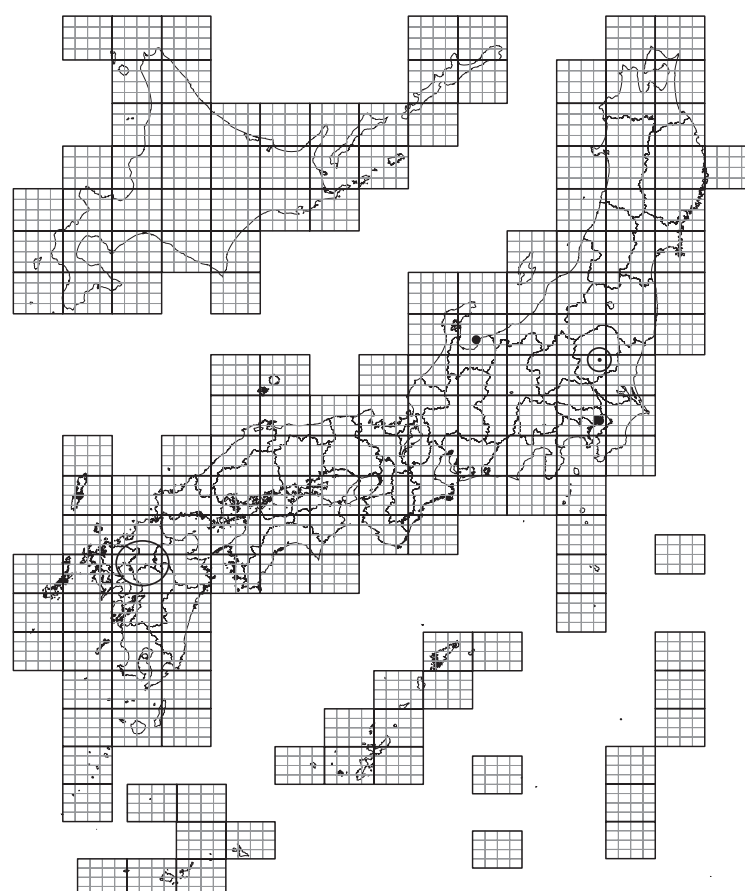
(分布) 全国的に旅鳥。近年、富山や群馬、東京で少数が繁殖。ユーラシア中部から北米東部に分布し、南半球で越冬。

(生態) 海岸や河川などで集団で繁殖する。地上に浅い窪みをつくり、草などを巣材に用いて2～3卵を産む。渡り期や越冬中にも群れで行動する。おもに空中よりダイビングして魚類をとるほか、甲殻類や昆虫類も食べる。

1974年－1978年      メッシュ数   A = 0   B = 0   C = 0



1997年－2002年      メッシュ数   A = 2   B = 0   C = 3



# ベニアジサシ

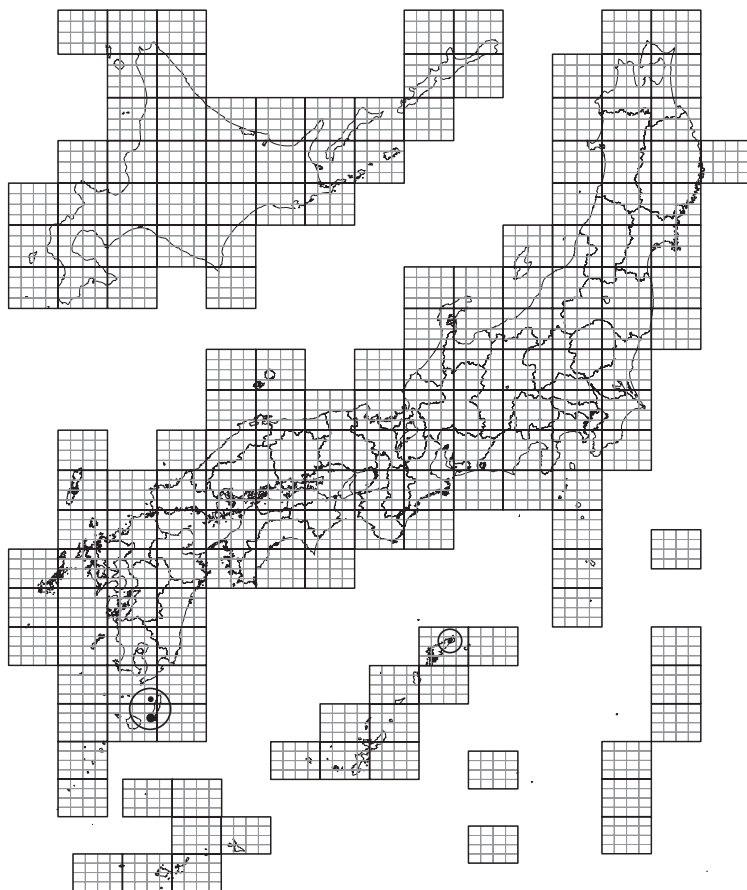
(分類) チドリ目カモメ科 *Sterna dougallii*

(環境省 RDB 種) 準絶滅危惧

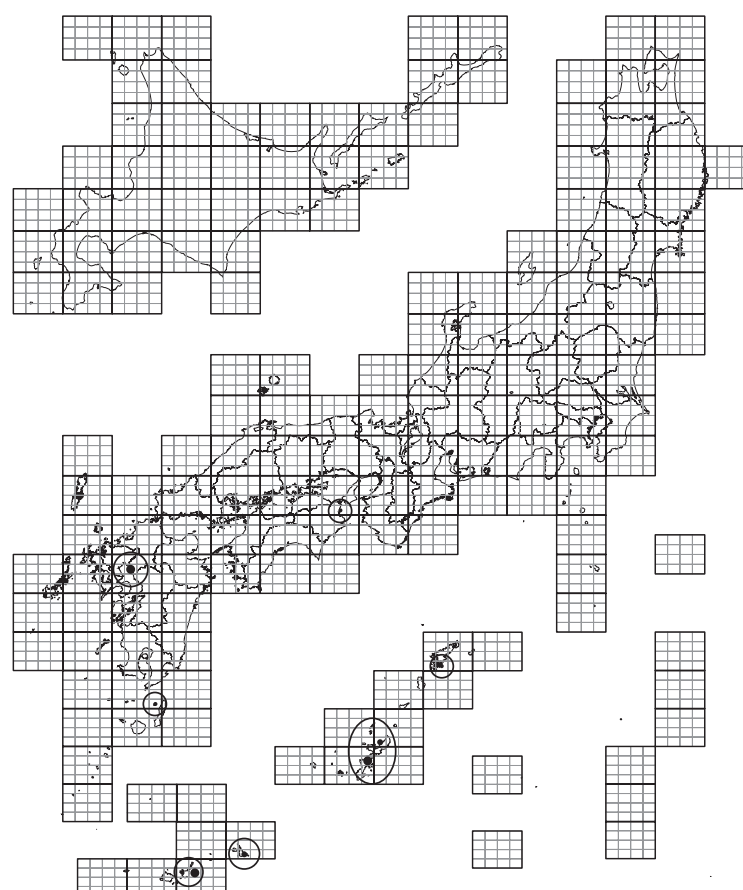
(分布) 南西諸島で夏鳥。近年、福岡県有明海でも繁殖記録。熱帯から温帯にかけて広く分布。

(生態) 海洋の小島で集団繁殖する。岩礁や砂地上に、枯れ葉や貝殻などの巣材を用いて1～3卵を産む。渡り時期や越冬中にも群れで行動する。おもに空中よりダイビングして魚類をとる。

1974年－1978年      メッシュ数   A = 1   B = 1   C = 1



1997年－2002年      メッシュ数   A = 3   B = 2   C = 4



# エリグロアジサシ

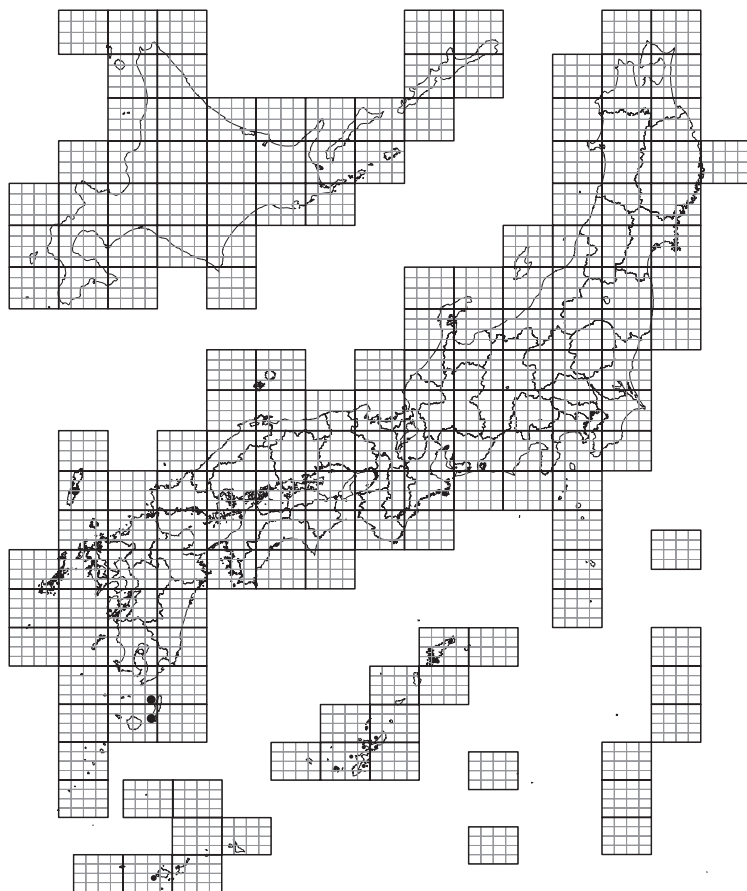
(分類) チドリ目カモメ科 *Sterna sumatrana*

(環境省 RDB 種) 準絶滅危惧

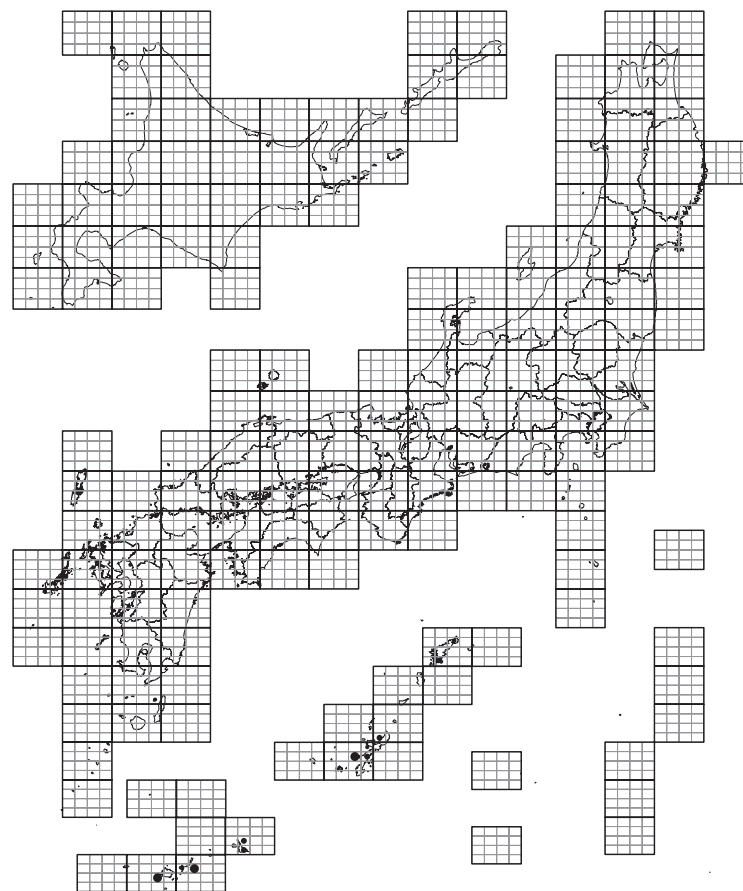
(分布) 南西諸島で夏鳥。熱帯から亜熱帯に分布。

(生態) 海洋の小島で集団で繁殖する。岩礁や砂地上に、サンゴや貝殻などの巣材を用いて2卵を産む。渡り期や越冬中にも群れで行動する。おもに空中よりダイビングして魚類をとる。

1974年－1978年    メッシュ数   A = 2   B = 1   C = 7



1997年－2002年    メッシュ数   A = 3   B = 4   C = 5



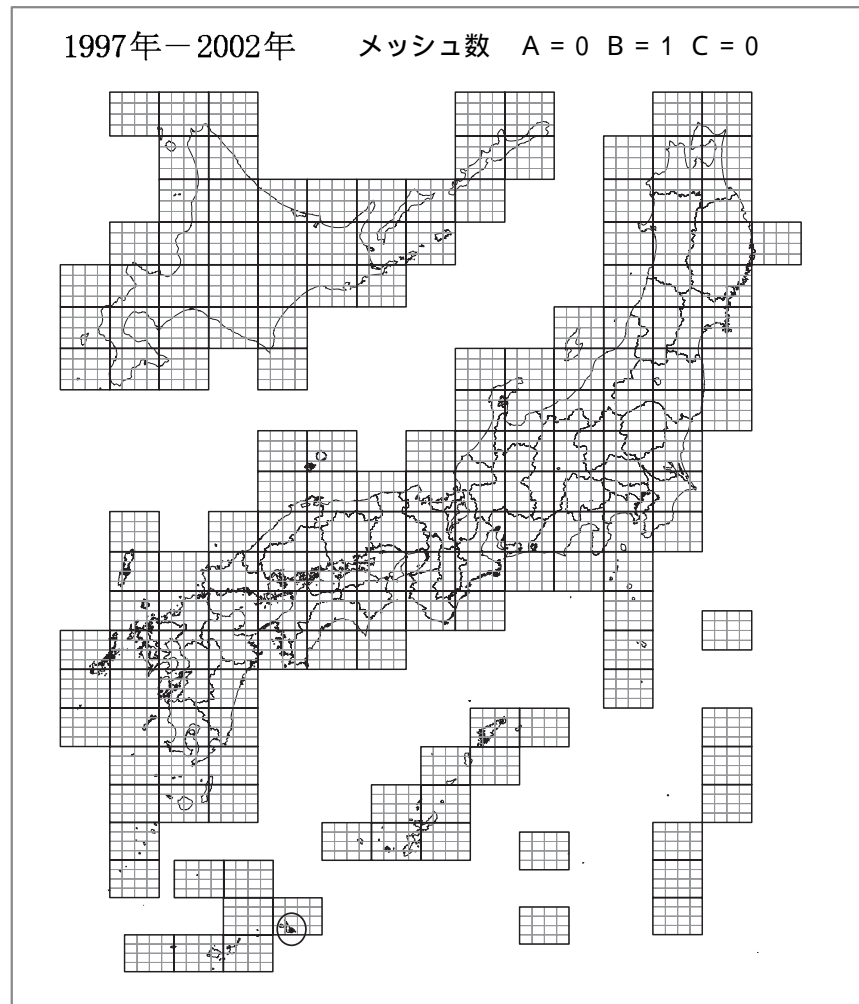
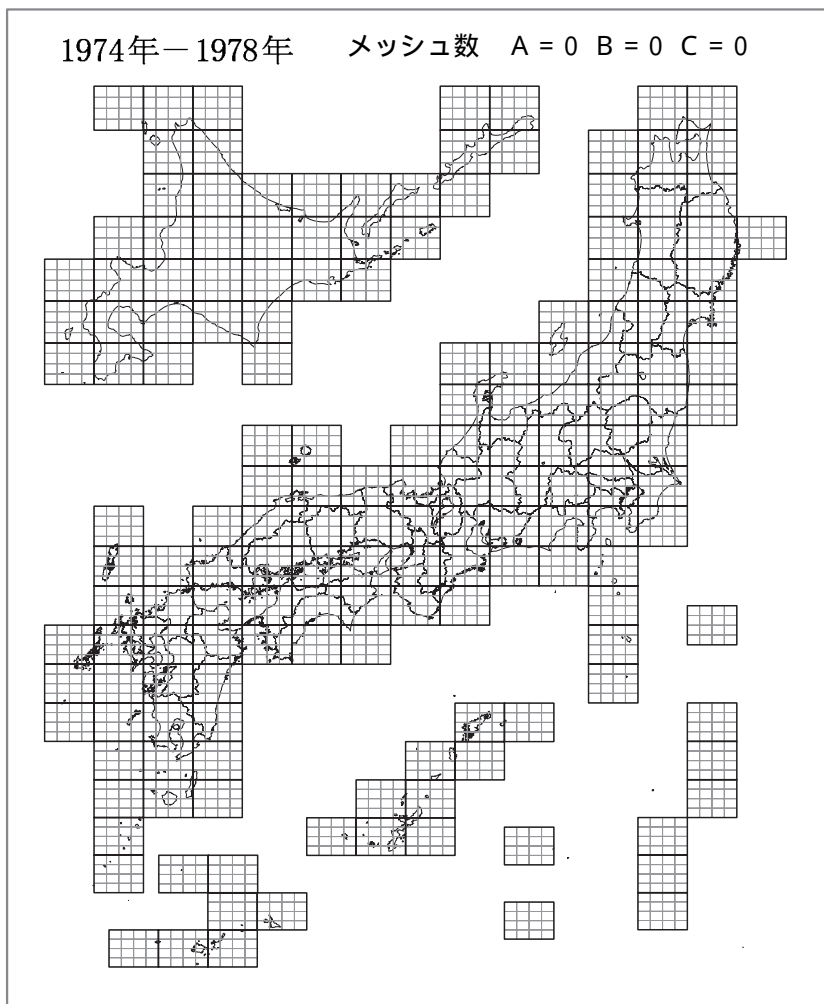
# マミジロアジサシ

(分類) チドリ目カモメ科 *Sterna anaethetus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 宮古島から八重山諸島で夏鳥。熱帯から亜熱帯の小島で繁殖。

(生態) 外洋の小島で集団繁殖し、岩礁や砂浜に直接 1 卵を産む。おもに魚類をダイビングしてとる。



# コアジサシ

(分類) チドリ目カモメ科 *Sterna albifrons*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

(分布) 本州以南で夏鳥。世界の温帯から熱帯にかけて広く分布。

(生態) 5～7月に水辺や埋め立て地などの砂礫地の浅い窪みに営巣する。2～3卵を雌雄交代で約20日間抱卵する。ヒナはふ化後2、3日で巣を離れ、約3週間で飛行する。おもに小魚を捕る。近年、営巣適地が減少している。

